

公表	事業所における自己評価総括表		
----	----------------	--	--

○事業所名	放課後等デイサービスen昭和		
○保護者評価実施期間	令和7年 4月 1日 ~ 令和7年 4月 30日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9人(配布数は8枚)	(回答者数) 6人
○従業者評価実施期間	令和7年 4月 1日 ~ 令和7年 4月 30日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数) 7人
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 5月 6日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	5領域を総合的に取り入れて様々な分野の活動をまんべんなく行っている。	個々に合わせた支援を行い、それぞれに合わせた活動や療育をしている。	日々の中でその子に必要な支援が何かを模索し、実践していく。
2	専門家の方々と保護者との交流の機会がある。	お茶会の機会を活用し、意見交換や専門家からのアドバイスを貰えるようにしている。	今後も継続して、イベントの開催を周知していく。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	非常時等の対応についての周知が足りていない。	避難訓練は定期的に行っているが、その日に利用がないので行っている事を知らない可能性がある。	過去に開催した日と曜日を変える等の方法を検討する。
2			

3			
---	--	--	--

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		放課後等デイサービスen昭和						公表日 令和7年5月6日	
		利用児童 数 9人(配布数は8枚)						回収数 6枚	
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	6	0	0	0	①人数が増えてどのような感じかなどは思う。	①スペースや遊ぶ場所を工夫していきたい。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	6	0	0	0			
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていますか。	5	1	0	0	①段差があるイメージですが、特に問題はない。	①安全に配慮しながら支援したい。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	6	0	0	0			
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	6	0	0	0	①指先を使ったり工夫してもらっていると思う。	①個々に合わせて工夫したい。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	6	0	0	0			
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	6	0	0	0			
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	6	0	0	0			
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	6	0	0	0			
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	6	0	0	0	①色々体験出来ている。	①今後も色々な体験をさせたい。	
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	3	1	0	2			
支援体制	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	5	1	0	0			
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	5	0	0	1			
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレン特レーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	0	0	0			
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができると思っていますか。	6	0	0	0	①送り迎えて話は出来ていると思う。	①今後もごまめに情報交換していきたい。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	5	0	0	1			

保護者への説明等	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	5	0	0	1		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	0	1	0	①イベントはいけていない事が多 いが、設けられている。	①今後もイベントを開催して参加 を促したい。
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されるとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	5	0	0	1		
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	5	0	0	1		
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	5	0	0	1	①LINEで発信してもらっている。	①今後も継続する。
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	5	1	0	0		
	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	3	1	0	2		
非常時等の対応	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3	1	0	2		
	25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていますか。	3	1	0	2		
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	4	1	0	1		
	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	5	0	0	1	①「えんしょうわ」とよく言っている。	
満足度	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	5	0	0	1	①楽しそうです。	①楽しめる環境作りを継続する。
	29 事業所の支援に満足していますか。	6	0	0	0		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービスen昭和				公表日	令和7年 5月 6日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0			
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	・日々の子どもの利用人数により、職員配置を調整している。		
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	・トイレ、手洗い等で分かりやすい場所にあり、部屋も子どもの様子や活動により仕切って使うことが出来る。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	・広い空間、畳に分かれ活動しやすくなっている。・ジョイントマットでクッション性があり、生活しやすい場となっている。水拭き出来る為清潔に保つことが出来る。		
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	・落ち着いて過ごせる空間があり、さまざまな所にあり活用している。・仕切ることが出来る場所が何カ所があるため、個別の空間を作ることが出来		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	0			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	・常に気づいた事等を話す事が出来る為、情報交換や伝達等がしやすい。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	0			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	・月1回開かれるお茶会では理学療法士や言語聴覚士の方を招き、話をする中で色々と学ぶことが出来る。		
支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	・5領域を取り入れながら、子ども1人ひとりに合った支援を考えている。		
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	・保護者の方々の意見も聞きながら支援を考えている。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	・1人ひとりの様子や関わり方等常に職員間に伝達するようにしている。		
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0			

適切な支援の提供	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0		
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	・5領域に沿った活動を総合的に提供している。 ・5領域を取り入れながら1ヵ月の中で様々な活動が出来るようになっている。	
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0		・一人ひとりの能力や適性に合わせた活動や計画を考えていきたい。
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	・出勤するとその日の流れ等を確認し、連携出来るようになっている。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0		
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	・子ども達の活動の様子等写真におさめ、情報共有をしている。	
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0		
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	7	0		
	25 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	・個々の活動では選択肢を設け意思の確認をしている。 ・1人ひとりの興味があることを考えたり、子どものやりたい意欲を大切にしながら、活動出来るようにしている。	
	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0		
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0		
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0		
関係機関や保護者との連携	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	0		
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	0		・まだ卒業者は出ていないが、卒業時には提供する。
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	0		
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	7	0	・戸外活動では公園などに行き、一緒に遊んでいる子ども達と触れ合うことが出来る。	

保護者への説明等	33 (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	7	0		
	34 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	・1ヵ月に1度、保護者との交流会を設け共通理解を深めている。	
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレン特訓等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	0	・お茶会では保護者の方々にも声を掛け、共に話せる機会がある。年に何度かぽんぽこの森での活動にも参加し交流することが出来る。	
非常時等の対応	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0		
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0		
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0		
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	・送迎時には子どもの様子を伝えながら家庭での様子もうかがい、支援出来るようにしている。	
	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	7	0	・毎月お茶会を設定して交流している。・バーベキュー等の行事を通して、家族で参加できる活動をしながら保護者同士で関わることが出来る。	
	41 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0		
	42 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	0	・活動の様子を毎日家族にLINEで発信している。・日々の様子は写真付きで様子が分かるように各家庭にLINEで送っている。	
	43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0		
	44 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	・SNSで活動の様子を発信したり、送迎時保護者と直接話をしたりしている。	
	45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	0		
非常時等の対応	46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	・避難訓練では子ども達にも気を付ける事等を伝えている。	
	47 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0		
	48 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7	0		
	49 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0		
	50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他の必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0		

△応	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	・危険と思ったことがあつたらその都度職員間で伝え合い気を付けるようにしている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0		